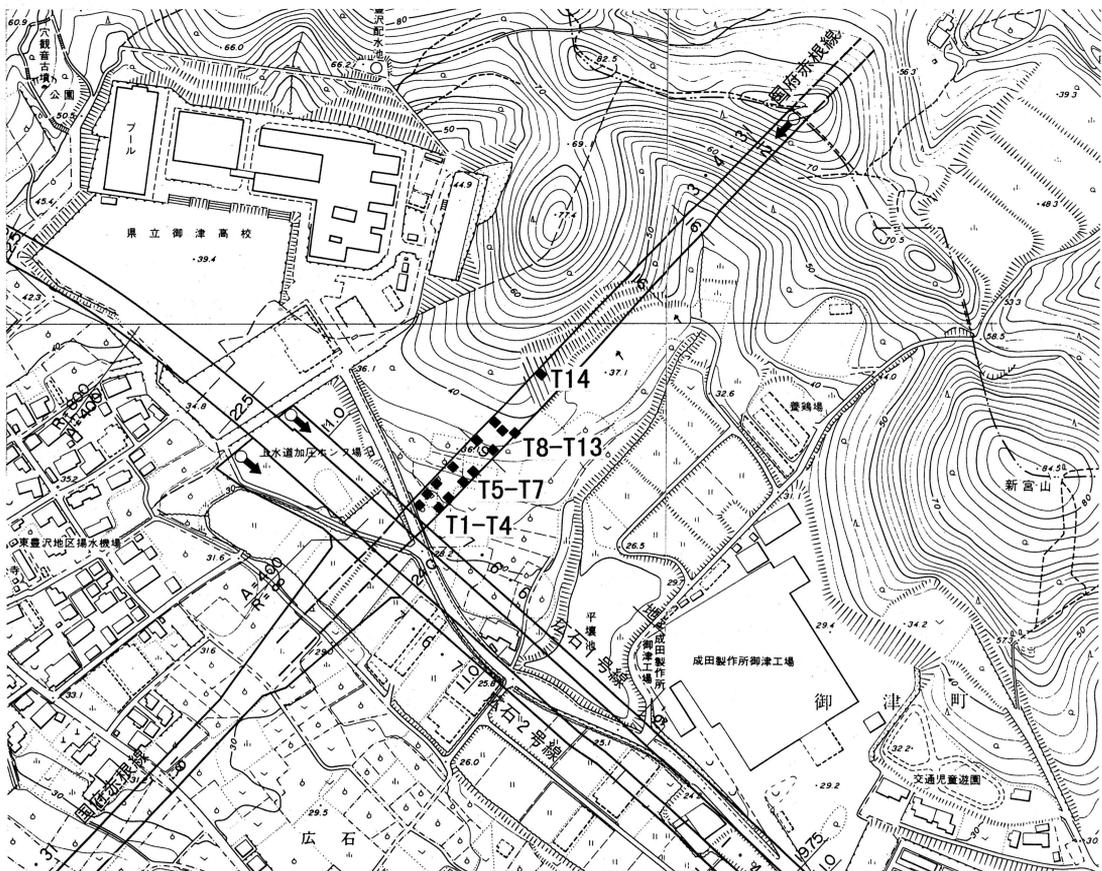


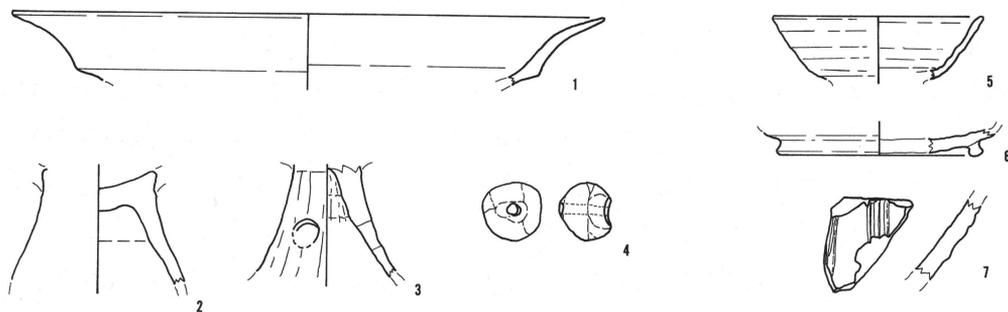
こうさか
高坂遺跡範囲確認調査

調査の経過 高坂遺跡は宝飯郡御津町大字広石字新宮山に所在する遺跡で、今回の調査地は昭和60年度に調査された「高坂遺跡」と同一遺跡である。今回の調査は、県道大塚国府線改良工事予定地内における範囲確認調査で、愛知県土木部より愛知県教育委員会を通じた委託事業として平成10年4月13日から4月24日にかけて、約150㎡を調査した。調査対象地内には試掘トレンチを14カ所設定し（T.1～T.14）、土層断面観察および遺構検出作業を行い、遺構・遺物出土の有無を確認し、遺跡の範囲・時期などを検討した。

調査の概要 各トレンチとも耕作土（表土）直下は洪積台地特有の赤褐色細粒砂からなる地山になり、各時代の遺構が同一面において確認できた。遺構遺物は調査地東山際にあるT.14を除いて全てのトレンチにおいて確認でき、遺構では弥生時代後期～古墳時代前期の土坑（竪穴住居を含む）・奈良時代の柱穴・戦国時代の溝を確認した。遺物は弥生時代後期～古墳時代前期の土器（壺・甕・高杯・紡錘車）、奈良・平安時代の須恵器（杯）・灰釉陶器（椀）、戦国時代の瀬戸・美濃産陶器（播鉢）が出土した。遺跡の範囲はT.14付近の削平部分を除く対象地全域に広がるものと思われる。（木下 一・花井 伸・蔭山誠一）

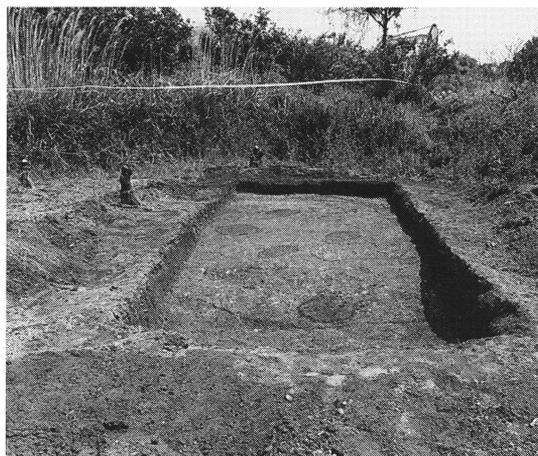


第1図 調査区位置図（1：5,000）



第2図 遺構検出時出土遺物（1：2）

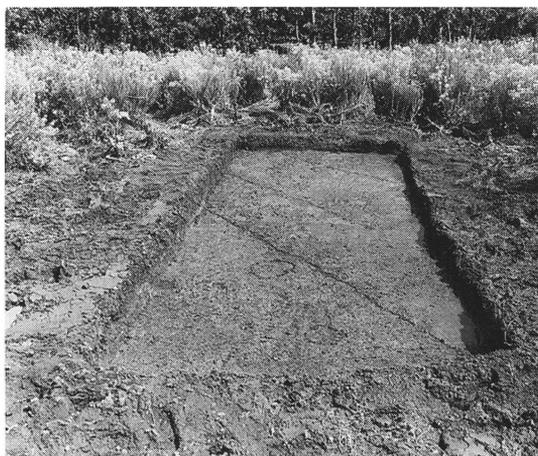
1～4は弥生後期～古墳前期、5・6は古代、7は戦国時代



T.2 西より



T.4 北より



T.6 西より



T.11 北より